

JR九州グループ中期経営計画の進捗

数値目標及び株主還元方針

本計画の数値目標として掲げていた営業収益4,400億円、営業利益570億円、EBITDA940億円は2025年3月期通期予想において達成する見込みです。

数値目標	(億円)	
	'25/3期 (予想)	'25/3期 (目標)
営業収益	4,411	4,400
営業利益	573	570
EBITDA	940	940
[参考]ROE	9.5%	8%以上

セグメント別数値目標 (億円)

セグメント名	営業収益		営業利益	
	'25/3期 (予想)	'25/3期 (目標)	'25/3期 (予想)	'25/3期 (目標)
運輸サービス	1,666	1,630	149	170
不動産・ホテル	1,382	1,330	284	270
流通・外食	652	650	36	30
建設	950	950	66	70
ビジネスサービス	818	800	47	40
合計	4,411	4,400	573	570

株主還元方針

株主還元は長期安定的に行っていくことが重要と考え、2025年3月期末までの間は、1株あたり配当金93円を下限として、連結配当性向35%を目安に配当を行い、状況に応じて機動的に自己株式取得を行う。

※ 非財務KPI及び進捗状況については、価値創造ストーリー「マテリアリティ」をご覧ください。

P.7 マテリアリティ

投資計画

財務健全性を維持しつつ主として借入余力を活用した成長投資を加速させるとともに、安全を確保し効率的な維持更新投資を推進します。

設備投資計画 (億円)

	'23/3期 (実績)	'24/3期 (実績)	本計画 期間累計	消化率
成長投資A	658	945	2,250 (M&A含む)	71.3%
維持更新投資B	343	320	1,150	57.8%
うち安全投資	141	180	580	55.5%
合計	1,002	1,266	3,400	66.7%

本計画期間の主な投資案件

成長投資A

不動産・ホテル関連

- ・JR長崎駅ビル開発
- ・鹿児島中央駅西口開発
- ・嬉野八十八(嬉野旅館開発)
- ・博多駅空中都市プロジェクト
- ・THE BLOSSOM KYOTO
- ・虎ノ門2丁目オフィス開発

新たな貢献領域での事業展開に向けたM&A

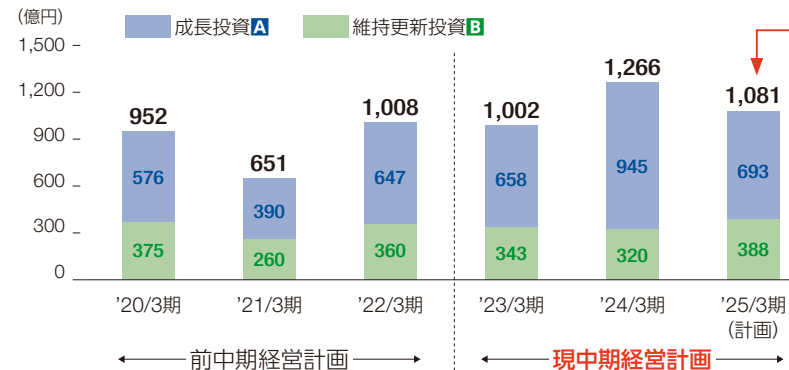
維持更新投資B

鉄道事業関連

- ①西九州新幹線関連
- ・新幹線車両新製 等
- ②オペレーション・メンテナンス改革
- ③安全投資
- ・811系主回路更新工事
- ・DD200形機関車新製
- ・YC1系車両新製
- ・自動運転関連

環境価値向上に資する投資(再掲)約600億円

※グリーンボンドフレームワークの適格プロジェクトなどに準ずる



'25/3期の主な投資案件

成長投資A

- ・LOGI STATION福岡小郡
- ・虎ノ門2丁目オフィス開発
- ・博多駅空中都市プロジェクト

維持更新投資B

- ・博多駅空中都市プロジェクトに向けた鉄道支障移転
- ・YC1系車両新製
- ・811系リニューアル工事

EBITDA	750	46	307	638	800	940
年間配当	146	146	146	146	146	146

財務健全性指標

D/EBITDA	1.9倍	54.1倍	10.5倍	5.5倍	5.0倍	5倍程度
自己資本比率	49.9%	43.8%	40.8%	40.7%	40.5%	40%程度